

審査状況

●審査総評

本年度の千葉県統計グラフコンクールは、県内各地から444名の作品389点が県に寄せられました。作品は、身近な生活に関わるものから社会・時事の内容まで、幅広いテーマが取り上げられていました。どの作品も、発達段階に応じてグラフの特徴を活かし、まとめられているだけでなく、わかりやすく伝わるように工夫されていました。

これからの社会を生きる児童・生徒には、生活の様々な場面でデータを分析し、自分の考えで解釈し、それに基づいて行動する力、つまり科学的探究や統計的手法による問題解決の力が必要とされています。そこで、身の回りの出来事を注意深く観察し、出てきた疑問や問題に対して、どのようにすれば疑問や問題の解決につながるのかを考えていくことが大切です。観察・実験・調査などでデータを集め、グラフなどに表し、その結果を考察することで、問題の起こる傾向を見つけ、自分たちの生活の向上につなげてほしいと思います。

様々なデータの見方やまとめ方がありますが、このコンクールに寄せられた多くの作品は、自分の伝えたい事柄を、データに根拠をもって考察し、作品を見る人にとってわかりやすくまとめられていると感じました。コンクールに応募した方も、これから応募してみようと思う人も、統計について学び続け、さらに客観的・多面的な見方・考え方を身に付けてください。このコンクールが、今後、ますます盛況になることを願っています。

●審査員

- 若林 登美子：総務省政策統括官（統計制度担当）付
統計企画管理官室 主査
藤井 新太郎：千葉県教育庁教育振興部学習指導課 指導主事
岡田 一人：千葉県教育研究会 情報処理（統計）教育部会会長
（一宮町立一宮小学校 校長）
保坂 和志：千葉県教育研究会 造形教育部会会長
（松戸市立相模台小学校 校長）
鈴木 浩光：千葉県総合企画部統計課長



●部門別学年別応募数・入賞作品数

部門区分		応募 学校数	応募 作品数	応募 人数	入賞作品数					
					知事賞	教育長賞	統計協会会長賞			
					特選	入選一席	入選	佳作		
第1部	小1・2年生	1	学 年	3	4	4	1		1	1
		2	学 年	12	14	14		1	3	8
		小	計	15	18	18	1	1	4	9
第2部	小3・4年生	3	学 年	16	23	24			1	6
		4	学 年	24	41	44	1	1	3	4
		小	計	*134	64	68	1	1	4	10
第3部	小5・6年生	5	学 年	17	25	31			3	4
		6	学 年	15	23	28	1	1	1	6
		小	計	*123	48	59	1	1	4	10
第4部	中学生	1	学 年	4	15	32	1			1
		2	学 年	4	211	220		1	4	11
		3	学 年	—	—	—				
		小	計	8	226	252	1	1	4	12
第5部	小中学生の パソコン 統計グラフ	小	学 校	6	6	6				2
		中	学 校	8	21	24	1	1	4	6
		小	計	14	27	30	1	1	4	8
第6部	高校生以上	高	等 学 校	3	6	17				
		そ	の 他	—	—	—				
		小	計	3	6	17				
合 計				*164	389	*2444	5	5	20	49

*1応募学校数の小計・合計は重複を除いた実数であるため、各学年の合計値と一致しません。また、県外の学校を含みます。

*2応募人数は、延べ人数です。